

	質問	回答
重井小中学校の学校再編について		
1	少人数ならではの行き届いた教育ができていたと思います。先生も児童も心にゆとりがあり、素晴らしい重井小学校は残して欲しい。	<p>これまで子供たちの安全安心はもとより、教育環境の充実を目指し、適正な学校規模の確保を基本として、保護者・地域の皆様の理解を得ながら、小中学校の再編を進めてまいりました。</p> <p>重井小学校は創立149年を迎える伝統ある学校です。保護者・地域の皆様の重井小学校教育へのご理解やご協力があり、これまで学校運営ができたこと大変感謝しております。重井小学校が毎日の授業や総合的な学習の時間のふるさと学習など、少人数のよさを生かした教育を推進していることは認識しております。</p> <p>しかしながら、重井小学校では毎年複式学級が生じる状況となることが見込まれるため、できるだけ早期に学校再編し、子供たちが切磋琢磨できる適正規模（複数学級）の教育環境の充実を図りたいと考えております。</p>
2	可能であれば、今入学している児童が卒業するまで存続して欲しい。	<p>小学校1年生から3年生が卒業するまで学校再編を遅くできないかというご意見ですが、小学校では毎年複式学級が生じる状況となることが見込まれるため、できるだけ早期に学校再編し、子供たちが切磋琢磨できる適正規模（複数学級）の教育環境の充実を図りたいと考えております。</p> <p>学校再編の提案年度である令和9年度については、これまでの保護者や地域との意見交換会での意見を参考に決めております。途中で学校が変わることとなる、児童生徒・保護者にとっては不安や心配事があると思いますが、安心して学校に通学することができるよう、また、学校に早期に慣れることができるよう取り組みを進めてまいります。</p> <p>統合年度についてはご理解いただければと思います。</p>
3	報道発表の前に両校の保護者と地域住民、因島北地域の5町の住民に説明したのか。理解もすること	<p>報道発表前の取組についてですが、重井小中学校の保護者、重井中学校区地域の皆様とは、令和5年12月以降意見交換を重ねてまいりました。令和6年4月20日以降の意見交換会では、小中学校ともに令和9年4月因北小中学校へ学校再編する案を提示させていただいております。また、因北中学校区では5月から</p>

	なく報道されて困惑している。	<p>7月にかけて、因北小中学校のPTA役員、因北中学校区の5区長会長へ重井小中学校の学校再編についての考え方を提示し意見交換を行っております。</p> <p>そのような経過を経て、8月21日に、尾道市議会議員へ重井小中学校の学校再編について説明会を開催し、同日夜重井小中学校保護者の皆様に説明会を開催させていただきました。今後も保護者や地域の皆様へ、この度の学校再編についてご理解いただけるよう説明会を開催させていただきます。</p>
小中一貫教育校について		
4	資料を見る限り、新しく構築された学校を創るという認識で良いですか。	<p>今回提案する再編後の学校は、「子どもたちが元気に明るく学校に通い、切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「保護者・地域から愛され、誇りに思える学校」を目指し、重井小中学校と因北小中学校の教育資源を最大限生かした、新たな学びを創造していきたいと考えています。</p> <p>そのため令和9年度の学校再編と同時に、小中一貫教育校へ移行することを目指しています。</p>
5	小中一貫教育校の目的と、現状の教育方法との違いを分かりやすく教えてほしい。	<p>因北中学校区小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指しております。現在、市内の小学校、中学校では、学校教育目標や、目指す児童・生徒像、育てたい資質・能力、教育課程を学校ごとに定めており、小中連携により9年間を通して児童・生徒の資質・能力を育成するよう、各学校で取組を進めております。</p> <p>小中一貫教育校についてですが、小学校と中学校が共通の学校教育目標の下、目指す子供像を共有し、9年間を通した教育課程を編成して系統的な教育を行う学校のことです。検討している小中一貫教育校は、因北小学校、因北中学校の2つの学校からなり、それぞれの学校に校長が配置され、教職員組織があります。学校組織としては現状と違いはありませんが、9年間を通した系統的な教育課程を編成するため、中学校卒業時点でのゴールイメージを意識しながら、小中で連続した教育活動を展開できることや、小学校と中学校の教員が同じ目線で子供の指導にあたることができることから、いわゆる中一ギャップの解消や緩和、学力向上に今まで以上につなげることが可能となります。また、教育研究の研究主題や、生徒指導規程等、学校運営上必要な事項の多くが小学校と中学校で共通となるため、授業や生徒指導において、教職員が、共通の指導方法で9年間児童生徒に対応することが可能となり、子供たちにとっても、小学校から中学校へスムーズに接続することができると考えております。</p>

6	<p>授業面、学校生活面において、重井の子どもたちが困らないよううまく進めてほしい。</p> <p>子どもたちのトラブルが起きないよう、スムーズに統合し、子どもたちが楽しく学び成長できるようにしてほしい。</p>	<p>小中一貫教育校が、児童生徒にとって、安全・安心で、魅力ある教育内容が展開できるように、教育環境（教育内容や人的措置等）の充実に努めてまいります。具体的には、SC（スクールカウンセラー）の配置やSSW（スクールソーシャルワーカー）の常駐化、不登校支援のためのSSR（スペシャルサポートルーム）の設置を行い、学校全体で組織的に、児童生徒一人一人に寄り添った支援体制を整えてまいります。</p> <p>教職員の配置についても、児童生徒が早く新しい環境に慣れ、安心して学校に通うことができるように、今後の人事異動で重井小中学校の教職員を因北小中学校へ配置することについて配慮してまいります。</p> <p>令和9年度の学校再編ということになれば、2年間の準備期間がありますので、その間、児童生徒間交流を積極的に進め、新しい集団として活動することができるような取組を進めてまいります。</p>
7	<p>グローバル、ローカル、尾道らしさの、ローカルは各町という認識で合ってますか。ローカルの指す場所を説明してほしい。</p> <p>小さい町で育った子供が我がまち重井や中庄・大浜・鏡浦・外浦を大事に思える教育を推進してほしい。</p>	<p>児童生徒の発達段階や学習内容によってローカルの指す範囲は異なっております。重井町や中庄町のような町を意識した場合や因島や瀬戸田のような旧市町を意識した場合、また、現在の市域である尾道全体を意識した場合があると考えております。</p> <p>小中一貫教育校では、因島の人、伝統、環境、産業、歴史等を扱った「ふるさと学習」を教育活動に取り入れ、因島の先人の生き方から学んだことを、中学校での職場体験学習や進路学習につなげ、一人一人の進路実現や持続可能な社会の実現に向けて「因島からの提言」をするといった、社会へ参画する態度の育成を図っていきたいと考えております。</p>
通学対策・通学支援について		
8	<p>距離が遠くなるので、学校までのバスがあればと思います。自転車だと、交通量とか多いので、心配です。</p> <p>中学生の自転車通学に備えて、通学路の安全対策をして欲しい。</p>	<p>本市の通学支援の対象となる児童生徒の基準として、通学距離が小学校概ね3 km以上、中学校概ね5 km以上の場合としています。重井中学校区は、因北中学校から5 km以内であり、通学支援の対象にならないと考えています。自転車通学であっても生徒の安全が確保できるよう、尾道市交通安全プログラムにより、学校・保護者・地域・道路管理者・警察・教育委員会等と通学路の合同点検を行い、安全対策を実施するとともに、学校においても安全教育に取り組んでまいります。また、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中でも、通学対策の在り方（自転車通学も含む）を検討していくこととなります。</p>

9	小学生の通学手段のスクールバスについて具体的な案を形にして欲しい。(運行時間や便数等)	<p>本市の通学支援として、通常利用すると考えられる通学路を路線バスが運行している場合には、路線バスの定期券を支給しております。路線バスでの通学が困難であると認められる場合には、スクールバス等の運行を実施しております。</p> <p>10月から、重井方面とフレスタをつなぐ、新しい路線バスの実証実験が始まります。このため現段階では、路線バスになるのか、スクールバスになるのかは決定できない状況です。今後実証実験の結果を踏まえて決定していきたいと考えております。</p> <p>また、詳細につきましては、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で、通学対策の在り方を検討していくこととなります。</p>
10	交通面など、重井の子供、保護者の不安を解消できるようになるべく意見を取り入れてほしい。	<p>これまで6月28日に重井小中学校の保護者アンケートを受け取っており、アンケートの中にあつた質問や要望について、8月21日の保護者説明会の説明内容に十分ではなかったと思いますが反映させていただきました。</p> <p>また、8月21日の保護者説明会へ参加された方や説明会資料をご覧になられた方へアンケートを行っております。このアンケートでの質問事項については、第2回保護者説明会にて回答させていただきます。</p> <p>今後も不安なことがあればいつでもご質問やご意見をいただければ対応いたします。</p> <p>令和7年度からは、重井小中学校・因北小中学校の教職員、保護者、教育委員会で構成される小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で、通学対策の在り方をはじめ、開校に向けた様々な事項を検討していくこととなります。</p>
中学校の部活動について		
11	中学校の部活施設についても充実させるのか。運動公園を土曜や休み期間で集合出来る曜日は第2グラウンドとして活用して欲しい、子供からも因北中はテ	<p>因北中学校のソフトテニス部はテニスコート1面で活動をしております。これまで、敷地面積の都合により、敷地内にテニスコートの増設はしておりません。そのため、学校では、1か月の中で土曜日に数回程度、因島運動公園のテニスコートを利用し部活動を行っております。</p> <p>今後も、練習内容や指導方法を工夫し、因島運動公園の利用回数の見直しなども検討することで、生徒の部活動に対する意欲や技術の向上を図っていきたいと考えております。</p>

	<p>二スコートが1面で充実した練習時間が確保出来るか不安の声も聞いている。</p>	<p>また、全ての部活動について生徒数に応じた部活動編成にすることが必要だと考えております。再編後は、スポーツ、音楽、文化、地域の特色を活かした太鼓・囲碁等、子どもたちの興味・関心に応じた選択肢のある部活動を再編成し、活性化を図りたいと考えております。</p>
12	<p>統合に当たり、部活等で中学校のグラウンドや体育館等が足りずに部活動の時間が取りにくい場合は、一貫教育の枠組みで、小学校のグラウンドや体育館を相互開放して施設の有効活用はできないか。</p>	<p>学校行事や部活動等を実施する上で、小学校と中学校の施設を相互に有効活用することは可能であると考えております。例えば、小学校のグラウンドや体育館の放課後使用については、小中学校が連携し、小学校の使用に不都合が生じない範囲内であれば可能であると考えております。</p>
制服や体操服の支給等保護者の負担軽減について		
13	<p>制服や体操服の支給についての文章が無かったが、どういった内容になるのか。統合が分かった上で入学する生徒にも支給してもらえるのか。</p>	<p>これまで尾道市内で学校再編した小中学校では、再編前年度の小学校1年生から5年生、中学校1年生と2年生には制服や体操服を支給しております。例外として、制服が似ていた場合には、そのまま着用し、支給していない場合もございます。</p> <p>令和9年度因北小中学校に入学する児童生徒を除き、令和8年度重井小学校に在籍する1年生から5年生、重井中学校に在籍する1年生と2年生には、制服と体操服の支給を検討してまいります。</p>
学校行事開催時の配慮について		
14	<p>運動会などの行事の時は、重井からだとどうしても車を使って保護者は移動するようになるが、駐車スペースは確保出来るのか。</p>	<p>運動会・体育大会や学習発表会・文化発表会などの学校行事を小中合同開催にするか、小学校中学校の単独開催にするかは、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で検討していくこととなります。</p> <p>現段階で確定的なことは言えませんが、グラウンドを使用する学校行事の合同開催の場合、単独開催の場合のどちらであっても、小中学校のどちらかのグラウンドを駐車スペースにすることは可能ではないかと考えられます。</p> <p>グラウンドを利用しない学校行事の参観日や学習発表会・文化発表会等については、グラウンドが駐車場となると考えております。</p>

跡地利用について

15	学校の閉校後施設はどうするのか。解体して更地にするのか、最低限の維持管理で地域活用するのか知りたい。	現在のところ、閉校後の跡地利用については決まっておりません。 地域のご意見を参考として伺う場合もありますが、基本的には、教育委員会だけでなく、市全体で公有財産の利活用について検討していくこととなります。
----	--	--